



# 大井町議会だより 2017. 11. 1 No. 193

ひ  
た  
た  
ろ  
う

第3回定例会	2
中学生議会	7
第2回臨時会	9
一般質問 <b>ここが聞きたい(8人)</b>	10
町のこの人あのひと	14

元気にボランティア活動

もり べんこ  
森 勉子さん



第2回中学生議会の議員

E-mail [gikai@town.oi.kanagawa.jp](mailto:gikai@town.oi.kanagawa.jp) / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

# 平成28年度決算認定 初の決算審査特別委員会設置

第3回定例会は9月7日から9月22日までの16日間の会期で開催され、平成28年度の6会計の決算、平成29年度6会計の補正予算を審議しました。また、行財政全般にわたる一般質問には8人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

## 決算審査ダイジェスト

一般会計の決算審査において、当町議会では初めて決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行いました。

### 一般会計

問 町民税の個人と法人の滞納繰越額について、前年決算の調定額と差異があるが。

答 個人分については、出納閉鎖期間後の税更正や県民税の按分によって差が生じている。法人は調定より多い納付があり、還付または、充当処理の確認ができなかったため差異が生じている。

問 ふるさと納税の返納率の見直しは。

答 返礼品は4割の設定である。当面は現在のままでいく予定。

問 預かり保育の長期休業中保育料について、徴収条例に規定がなく要綱で対応している。条例に規定していく考えは。

答 条例上規定すべきと認識しており、今後条例改正を行っていく。

問 地方消費税交付金について、増税分の3%は社会保障費に充てるようになってきているが、その使用道は。

答 一般財源ではあるが、社会福祉、社会保険、保健衛生の3部門に充てている。

問 個人番号カード再交付手数料について、前年度に比べ大幅に増加している理由は。

答 個人番号カードの発送から2年たっているため、再交付が増えたと考えられる。

問 地方創生加速化交付金について効果は。

答 未病関連については、これから成果が出てくるものであろうと考えている。プロモーション動画等は成果品のひとつである。相和ブランド、フェイジョアブランドについても、今後継続的に事業を展開していくことで、成果が出てくると考えている。

問 税の減収が見込まれる中、庁舎南側駐車場有料化等町として独自に収入を増やす考えは。

答 財源の確保は様々な方法で考えるべき。駐車場の有料化は、施設の収支がどれくらいかかるのか。団体の利用方法等か

単位：万円

会計		歳入	歳出	差引
一般会計		54億9,684	51億1,767	3億7,917
国民健康保険特別会計		22億0,101	19億2,700	2億7,401
後期高齢者医療特別会計		1億9,279	1億7,637	1,642
下水道特別会計		5億3,802	5億2,487	1,315
介護保険特別会計		9億9,590	9億5,217	4,373
水道事業会計	収益的収支	3億0,834	2億5,461	5,373
	資本的収支	662	1億3,210	△1億2,548

# 第3回定例会

ら慎重であるべきである。

**問** 不用額が決算額に対して6・3%あり、不用額を減らしていくべきと考えるが。

**答** たびたび指摘を受けているが、不用額は職員の努力によるところでもあることを理解いただき、入札制度の見直しも必要である。

**問** ご当地弁当ブランチユアツブ事業は、どのような形で活用したのか。

**答** 大学生が考案したメニュー等に関して、大学の知的財産権やリスク管理などの整備をするために予算化され、最終的には、町と大学側で覚書を取り交わした。

**問** 有害鳥獣について、捕獲実績が前年を上回っているが、その理由は。

**答** 単純に個体数が増えていること。また、捕獲隊が発足し数年経つが、捕獲技術が向上していることなどが理由である。捕獲の半数以上が農家の



畑に設置された防護柵

方である。

**問** 相和活性化委員会は、例年に比べ開催回数が少なくないと思うが、どのような審議が行われたのか。

**答** 活性化委員会の下部組織である検討部会が活発に活動している。活性化委員会は、検討部会の活動内容をもとに、補助金の使い方、事業成果への提言を行うようになったので、回数が減っている。重要な案件を検討部会から出す場合は、メンバーも出席している。

**問** 教育費の備品購入費について、ノートパソコンの入札による購入が8月であれば、不用額を早期に補正による減額をすることで財源確保にもつながるのでは。

**答** そのとおりである。今後補正対応をしていく。大井町は年度途中で新たな事業をしてこなかったが、今後は議会の皆様の承認、ご理解をいただきながら検討していきたい。

**問** コンビニ収納は何件あったか。また当初見込んでいた税額が確保できたのか。

**答** 8085件あった。口座振替以外はコンビニでも可能なため、その8割を見込んだ。

**問** 財産に関する調書の物品については、車の記載しかないが、それ以外にもあるはずであり、記載方法を見直していく必要があるのでは。

**答** 他市町村では、同じようなところもあれば、詳細に記載しているところもある。備品管理台帳の整理をし、付属説明書への記載していくなども含めて検討していく。

**問** 町に新たな金融機関が進出したが、指定金融機関にしないのか。

**答** 利用者も限られているため利便性を考えると、現状が好ましいと考える。

**問** 体育館の照明設備改修工事費について、雨漏りがひどいと聞いているがこの工事の影響ではないか。

**答** 体育館は、建設時から雨漏りがひどく、漏水対策をしているが、当初からの問題である。改修工事が原因ではない。

**問** 粗大ごみの不法投棄に対して自動撮影カメラの設置や禁止看板を充実させる考えは。

**答** カメラはごみステーションに設置したり、特定できれば、町職員から指導したこともある。松田警察署もパトロールに参加していただける。看板は秦野市を参考にする。



LED化された総合体育館の照明

措置する理由は。

**答** 団員定数の143名で計上している。途中で増えることがあるので最大値で考えている。

## 国民健康保険特別会計

**問** 被保険者数が対前年度比で240人減少しているが、今後減少していくのかどうか町はどう見ているか。

**答** 国が進める短時間労働者に対する厚生年金保険・健康保険適用拡大により、国民健康保険から社会保険へ切り替わるという現象が出てきている。労働時間が多くなればなるほど今後も減少傾向が出ると認識している。

**問** がん検診委託料について、胃がん健診が顕著に減っているが、その理由は。

**答** 大腸がんクーポンが廃止となったためと考えられている。

**問** 消防団員に欠員があるが、報酬を定員で予算

**答** 保険給付費の歳出が平成26年度から27年度で5千万円、平成27年度から28年度で1億円のマイナスとなっており、大井

町の被保険者が医療機関にかかっている方が少ないと思っている。

**問** 平成30年度から保険者が県になるが、この剰金はどう扱われるのか。  
**答** 保険者が県になっても町の国民健康保険事業で役立てるように使える。

**問** 剰金が大きいが一般会計からの繰入金を減額する考えはあるか。  
**答** 法定外の繰入では平成27年度から28年度では700万円減額となっているが、国からは法定外繰り入れは無くすように指導が来ているため、保険者が県に一本化となり無くなつていくと考えている。

**問** 収納率が77・85%ということと0・64%の増となっているが、どのような努力をされたか。  
**答** 不能欠損額を減少させるということで、早い納付勧奨を促したり、土曜・日曜の午前に臨戸訪問や電話催促を行った結



拠点となる  
 保健福祉センター  
 集団検診

果と考える。

**問** 滞納になっている方に短期被保険者証は、何世帯に発行しているか。また、不納欠損になった世帯はどのような扱いになっているか。  
**答** 未納分を分納誓約して約束通り納付されている方206世帯を対象として発行している。不納欠損にあたるような方は、財産調査をして財産がない方等であり資格証を出せるが請求された方はいなかった。

**問** 特定健康診査の受診対象者数は変わっていないが受診率が下がっている。再診率を上げるために以前受けている方に案内を出したり、胃の検査に胃力メラなど選択肢を増やす考えは。  
**答** 国民健康保険に多く加入されている商工振興会は役員会などで受診勧奨の説明をさせていただき受診されるよう啓発している。胃力メラとバリウムに関しては医療機関も絞られることもあり皆様のご意見を聞きながら検討して行きたい。

後期高齢者医療特別会計

**問** 平成28年度から金額が上がってきたと思うが、軽減になった方の人数は。  
**答** 所得割の軽減は203名、均等割の軽減は1037名、9割軽減286名、7割軽減234名、5割軽減166名、2割軽減197名。被扶養者154名。

下水道事業特別会計

**問** 金手汚水線工事にて地元住民から工事手法について指摘を受けたが、その上流の工事完了区間は正しい手法の工事であったか。  
**答** 菅基礎は転圧をして沈下を防ぐものであるが、土のうを敷設していたため指導をして埋設させた。すでに完成した区間は土のうではない基礎で行ったと確認をとった。

介護保険特別会計

**問** 基金の残高が81,699千円であるが目標額はあるか。  
**答** 介護給付費の10%くらいは持ちたいと思っている。

水道事業会計

**問** 不納欠損者でサービス利用者はいたのか。  
**答** サービス利用者はいなかった。

**問** 滞納対象者に対してペナルティがあるのか。  
**答** 滞納状況により給付制限を国から示されている。本町においては平成24年度に1件給付制限を行った。今後も給付制限等、法に基づき対応していく。

**問** 貸借対照表・負債の一部・他会計補助金の内一般会計からの補助金はいくらか。  
**答** すべて一般会計からの補助金である。

**問** 未収金が前年度から623万6千円増えているが原因はなにか。  
**答** 下水道事業会計から受けるものが年度末で支払いが翌年度になったため。



金手汚水線工事箇所

# 平成28年度一般会計決算 討論

## 町民の活力になる 政策を行え

反対討論 曾根田 徹 議員

平成28年度の歳入決算額は54億9684万4049円、歳出決算額は51億1767万386円となり、町の収入源となる町税では個人が対前年度比で約1600万円の減収で、法人では税率改正の影響もあり、対前年度比で約6700万円の減額となった。個人の場合は均等割と所得割に応じての納税になるが、法人の場合、町内にある事務所または事業所が自ら申告納付をする。

財務省が公表した2016年度の法人企業統計では、利益剰余金は406兆2348億円と過去最高を更新しているが、企業の「内部留保」が積み上がるのみである。町側も税率改正をせずに資産金等で億を超える企業、大企業には応分の税率をかけるべきである。

生涯学習センター施設改修工事では指名競争入札により落札した業者と工事請負契約をするが、最低制限価格を下回ったため低入札調査をしてからの契約となった。予算建てをしつかり行い低入札にならないように努めるのも職員の仕事である。

地方創生加速化交付金を活用した事業展開では、相和地域への各事業、広域行政による事業等を行っている。お笑い芸人を採用し未病観光コンシェルジュの設置やMEIBYOフェスタ等のイベントを町・県・企業と連携し開催して町内外にPRに努めている。しかし、大井よさこいひょうたん祭には、前年度と同じぐらいの3万人が来場され、記念行事としてPRをしてきたのであるなら前年を上回る来場者に努めるべきである。

フェイジョアでは調査研究等に力を入れるのも良いが、商品化された品物が売れ、生産者が作ってよかったと思えるPRと町内外での販売ルートを先行すべきである。

## 着実な施策の 実現を評価する

賛成討論 伊藤 奈穂子 議員

平成28年度の歳入総額は54億9684万4千円、歳出総額は51億1767万1千円であり翌年度に繰越すべき財源である繰越明許費繰越額の979万円を差し引いた実質収支額は3億6938万3千円。經常収支比率は86・1%である。

町税や各種交付金の減少に加え扶助費や公債費等の増加により前年度に比べ1・8ポイントの悪化となったが、実質公債費比率が前年度より0・5ポイント改善されたことに代表されるように健全化判断比率を表す各種指標がすべて基準をクリアしているのは、適切な行財政運営がなされた結果とおおいに評価する。

次に歳入では固定資産税の償却資産の増収、県支出金やふるさと納税などの増額はあるものの、町民税の減収や各種交付金の減額により前年度と比べ率にして2・8%の減額となったが着実な財源確保に努められたと評価する。

歳出においては不安定な社会情勢のなか「おおいきらめきプラン」の着実な推進がなされた。具体的には大井小学校のプール改修工事、相和小学校での放課後教室の開設など教育環境の整備や、小児医療費の助成対象年齢を中学3年生まで拡大し、子育て世帯の経済的負担軽減にも取り組んでいる。

役場庁舎の照明、総合体育館アリーナの照明、町内の防犯灯等を一齐にLED化し防犯環境の整備の充実と電気料削減にも取り組んでいる。その他にも相和ブランド創出事業や未病関連事業の推進、大井中央土地区画整理事業に関する業務促進など大井町を活性化させる施策が実現できたと大変評価する。

平成28年度は大井町町制施行60周年を迎え節目の年でもあった。新しいステージを歩みだした大井町の素晴らしさを町内外にアピールし、更なる発展のために全力で取り組んでいたことを期待して賛成討論とする。

条例

大井町水道事業給水条例の一部を改正する条例  
(賛成9・反対3)

\*大井町水道施設整備基本計画に基づく計画的な施設更新と将来に向けた水道事業の健全な経営を維持するため、水道料金の改正を提案する。

この条例は企画経済常任委員会に付託された。最初に現地視察を行い詳細な説明の後、審査、採決を行った。委員会は賛成多数で付帯決議を付けて原案可決と決した。

〈企画経済常任委員会〉

**問** 施設更新に国県補助金の活用は。

**答** 施設更新にかかるメニューはない。今後、補助金の活用ができるものがあれば検討する。

**問** 料金区分を細分化した意図は。

**答** 利用者の利用実態に考慮し基本水量を引き下げた。使用量の少ないところの料金区分を細分化した。

**問** 今まで料金改定の検討をしなかったのか。

**答** 18年間料金を改定していない。その間3回検討したが運営協議会にお

【付帯決議】

1 今回の水道料金改定に至った経過、必要性を町民に対して十分な説明を行い、理解を得るよう努めること。

2 水道料金の福祉減免制度の導入を検討すること。水道事業の一層の効率化に努め、今後策定される財政収支計画等において料金の値下げが可能と見込まれる場合は、必ず料金改定を行うこと。

うこと。

いて現状維持との結論だった。今後必要とされる設備投資、有収水量の減少も鑑み今回改正を行うものである。

**問** 一般会計からの繰り入れ等の検討をされたか。

**答** 水道事業の経営は現在でも厳しい状況であるが、一般会計の繰り入れは出来ない。

**問** 15%の値上げでもい

**答** 計画以外の施設の修繕や災害時の対応をするため内部留保資金が必要であり15%の値上げでは確保できない。

**問** 今回の改正ですべて賄えるのか。

**答** 水道管の更新費用など今回の改正に含まれていないものがある。今後検討する必要がある。

**問** 町民に対しての周知は。

**答** 町広報、ホームページ、戸別チラシのほか説明会を開催する。

【修正動議】

大井町水道事業給水条例の一部を改正する条例に対する修正案  
(賛成2・反対10)

\*3名の議員発議による原案に対する修正案が提出された。

**問** 運営協議会の資料にある財政収支のシミュレーションをみると4〜5年後にはマイナスになるとあるがこの修正案で賄えるのか。根拠は。

**答** 厳密には計算していないが試算では十分であると考える。



第2浄水場中央操作盤の現地視察

**問** 料金を平準化すると

いうことだが区分の一部だけではなく全体を下げの考えはあったのか。

**答** 利用者の多いところの値上げ幅が大きかったことから下げた。

人事

大井町教育委員会教育長の任命について同意を求めること  
(賛成全員)

\*夏苺一壽氏は任期満了となるので再度選任するもの。

夏苺一壽

(再任 上大井)

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること  
(賛成全員)

\*石井孝典氏は任期満了となるので再度選任するもの。

石井孝典

(再任 上大井)

補正予算

一般会計

(第4号)(賛成全員)

\*歳入は交付税額、繰越金の確定。歳出は事業の所要経費等を計上し歳入歳出それぞれ5372万2千円を増額。

**問** 臨時財政対策債は8000万円減額し1億5000万円借りるということか。

**答** 今のところその方向でいる。

**問** 今借りると利子はいくらか。

**答** 現行1%未満。12月

# 第3回定例会

## 特別会計

時点で額が変わることも考えられる。

国民健康保険  
(第1号)(賛成全員)

下水道事業  
(第1号)(賛成全員)

\*平成28年度決算認定により繰越金259万2千円の増額。

### 介護保険

(第1号)(賛成全員)

\*歳入は平成28年度決算認定に伴う繰越金の確定。歳入は平成28年度決算認定に伴う国庫支出金の返納金を増額。

\*歳入は平成28年度決算認定に伴う県負担金の減額、繰越金の確定。歳入は介護保険給付費準備基金の積み立て等の増額。

歳入歳出それぞれ1億9162万7千円の増額。

歳入歳出それぞれ288万8千円を増額。

**問** 基金から補填し国保料金を下げたらどうか。

**答** 今は安定しているがいつ何が起るかわからない。安定した財源確保が必要。

**問** 今年度の保険給付費の推移は。

**答** 現状では予算どおりと考える。

**問** 予備費を基金に積み立てるとなると保険者が県になった場合の影響は。

**答** 特に影響はないと考える。

**問** 今後の保険料の値上げは。

**答** 向こう3年間の推移の中で考えていく。

### 後期高齢者医療

(第1号)(賛成全員)

\*平成28年度決算認定により繰越金332万1千円の増額。

### 水道事業

(第2号)(賛成全員)

\*水道料金改定に伴う料金システムの改修委託費

## 陳情

36万円を予備費から充当。

「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情(不採択)

この陳情は薬害肝炎弁護団・原告団から提出されたもので教育福祉常任委員会にその審査が付託された。文書や参考資料を基に慎重に審査した結果、薬害肝炎被害者を救済するため、薬害肝炎救済法の請求期限を延長することの必要性は理解できるが、救済法の対象を拡大することを求めることについては、今後、国においての議論に注視していく必要があるとの判断から全員一致で不採択とした。その後、本会議においても全会一致で不採択となった。



## 中学生議会



今年で2回目となった中学生議会が、8月8日(火)午前9時から開催された。

江崎智弥議長の進行のもと10人の議員が次々に登壇、議長も尾林諒副議長と進行を交代し質問に立った。

各議員は、持ち時間の15分内で、日頃感じている身近な問題等、インターネットなどから得た情報を活用し、再質問も行いながら町への質問・提言を行った。



議員氏名	質問事項
増川 慶	町公共施設の整備について
三友 優	防犯の取り組みについて
尾林 諒	野生生物による被害の対策について
瀬戸 舜介	動画を利用した大井町のPRについて
齊藤 永真	国道255号と道の駅について
杉崎 妃香	大井よさこいひょうたん祭の活性化について
江崎 智弥	「未病いやしの里センター」と町の振興について
平石 璃音	地域交流の活性化について
小宮 京子	人口減少をくいとする施策について
柳川 さくら	ハイキングコースの観光活用について

大井町水道事業給水条例の一部を  
改正する条例 討論

原案賛成

諸星 光浩 議員

町の水道事業は、町の

発展と共に、それぞれの  
地区に存在した組合を統  
合し平成11年3月に給水  
地域は町全域において大  
井町水道事業が開始され  
現在に至っている。この  
水道事業は独立採算制を  
取っており、その財政基  
盤は水道料金収入に依存  
している。しかし給水人  
口は平成20年をピークに  
減少傾向、そして、有収  
水量も平成17年をピーク  
に減少している中、水道  
料金は平成11年より18年  
間消費税の改定以外の料  
金改定がなされていない。

この様に水道料金が落  
ち込む中、町は平成27年  
に「水道施設整備計画」  
を策定し、現状の水道事  
業を分析し見えてきた課  
題として

1 現状の水道料金でい  
くと企業債の元金償還増

原案賛成

清水 亜樹 議員

で平成30年から平成36年  
の間に内部留保資金が約  
3億9千万円の赤字とな  
る。

2 昭和40年から50年に  
整備した水道施設の老朽  
化による更新・再構築に  
15年間で約6億3千万円  
の金額が必要。

3 不測の事態に落ちい  
ったときの復旧費用や将  
来の企業債償還費用等の  
確保。

等への対応である。  
管路の老朽化対策や耐  
震化対応、また国が求め  
る平成32年度まで作成す  
る「経営戦略」等への対  
応を考えたとき、当局提  
案の18・38%値上げの料  
金改定は妥当と判断する。  
現状・将来を見据えた  
時、この条例改定は大井  
町町民に「安全で安心な  
水」を「安定的」に供給  
する不可欠な改定と理解  
している。

修正案賛成

田村 俊二 議員

本修正動議による修正  
案は、原案に対し、大幅  
な引き上げの低減を図  
り、全ての町民の皆さん  
の生活に深く関わる、水  
道料金の値上げによる家  
計への打撃、負担を軽減  
するものである。

原案の引き上げは、引  
き上げ率を全体で18・  
38%とし、2か月当たり  
の基本水量を20㎡から16  
㎡に引き下げ、基本料金  
を1360円から166  
0円に引き上げるもので  
ある。この基本料金の引  
き上げは、22%となる。  
使用水量の少ない世帯ほ  
ど、値上げ率、値上げ金  
額が大きなものとなる。

給水人口の減、節水意  
識の向上等による、水道  
料金収入減の補填、施設  
の更新のための財源確保  
等のために水道料金の改  
定、引き上げが必要であ  
り、かつ、水道事業の健  
全経営のための引き上げ  
が求められているとして  
も、18年間も放置してき

たことと、併せて、町民  
への情報不足は、否めな  
い。

しかも、今回は試算さ  
れていないが、今後、予  
定される管渠すなわち、  
地中に埋設された送水管  
等の更新費用にも莫大な  
財源が必要とされている。  
このことは、管渠更  
新のための財源確保のた  
めに水道料金の再値上げ  
が近々行われることが想  
定される。

もちろん、老朽化した  
施設の更新費用や管渠の  
更新費用の財源確保等の  
ために、応分の負担を利  
用者に求める料金改定を  
看過し、否やとするもの  
ではない。

将来必要とされる、施  
設の更新費用や管渠の更  
新費用の全体計画を示  
し、そのための財源確保  
等のため、必要とされる  
水道料金としての負担額  
を町民に示すべきであ  
る。併せて、町民の理解  
を得ていくことが必要で  
ある。

今回の水道料金の引き  
上げは、

・管渠の更新費用を含め  
た全体計画が示されるま  
での暫定的のものとし、  
可能な限り、引き上げ率  
を抑えるものとすべきで  
あること。

・水道事業者の説明責任  
として施設、管渠の更新  
費用等の情報を町民に示  
し、引き上げ幅の共有化  
を図ること。

等が求められている。  
したがって、今回の水  
道料引き上げ幅は、平成  
30年に予想される水道事  
業会計の赤字回避をする  
ために必要な財源確保、  
当面必要な更新費用の財  
源確保の範囲内とすべき  
である。

そのために、今回の引  
き上げ案の説明のなかで  
は、改定率15%案でも対  
応可能としている。本修  
正案はこれをベースにし  
たものである。

このことから、町民の  
皆様の家計に与える負担  
軽減を図る「修正案は、  
町民の皆様の理解を得ら  
れるものと考ええる。

## 第2回臨時会・審議結果

### 第2回臨時会

7月19日に開催され、一般会計補正予算の審議をしました。

### 補正予算

一般会計（第3号）

（賛成全員）

\*歳入は、補助金の確定。歳出は二酸化炭素排出抑制対策事業費の計上と大手法人の確定申告に伴う還付金及び還付加算金の増額。歳入歳出それぞれ999万円を増額。

**問** 地球温暖化対策実行計画事業編改定事務委託料について説明を。  
**答** 国が進める地球温暖化対策計画に沿った地方公共団体実行計画事業編を策定するもの。本町では、大井町環境計画の改定に加え、その計画に反映させるための調査、検討、評価を行っていく。

### 審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 欠は欠席した議員  
 小田眞一議長は、採決に加わりません。

臨時会・定例会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順）と審議結果											審議結果		
			田村俊二	牧野一仁	熊田和人	清水亜樹	諸星光浩	伊藤奈穂子	曾根田徹	細田勝治	瀬戸和雄	北村正夫	清水豊司		石井勲	鈴木武夫
第2回臨時会	33	平成29年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3回定例会	34	大井町水道事業給水条例の一部を改正する条例に対する修正案	○	欠	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
	34	大井町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	×	欠	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	35	平成29年度一般会計補正予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	36	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	平成29年度後期高齢者医療特別補正予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	38	平成29年度下水道事業特別会計補正予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	平成29年度介護保険特別会計補正予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	40	平成29年度水道事業会計補正予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	41	大井町教育委員会教育長の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	可決
	42	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	可決
	認定1	決算認定について（平成28年度大井町一般会計）	○	欠	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	可決
	認定2	決算認定について（平成28年度大井町国民健康保険特別会計）	○	欠	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	可決
	認定3	決算認定について（平成28年度大井町後期高齢者医療特別会計）	○	欠	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	可決
	認定4	決算認定について（平成28年度大井町下水道事業特別会計）	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	認定5	決算認定について（平成28年度大井町介護保険会計）	○	欠	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	可決
	認定6	利益の処分及び決算認定について（平成28年度大井町水道事業会計）	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	陳情1	「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

子育て支援策として、給食費無償化の考えは

答 現在考えていない

清水 亜樹 議員



**問** 給食費の公会計化への見解は。  
**町長** 将来に向けての大きな課題である。全国的な流れなども注視しているが、今の状況の方が本町としては良いと考える。  
**問** 給食費未納状況は。  
**町長** 電話催告等を行っている。辛うじて未納ゼロとしている。

**問** 町内産食材の利用率は、また取組みは。  
**町長** 今年度7月分までで31・4%。各団体等に協力して頂いている。今後も食育の観点を含め、地産の物を活用したい。

**問** 子育て支援策として、給食費無償化の考えは。  
**町長** 現在考えていない。

【水害対策について】

**問** 洪水ハザードマップの改訂状況は。  
**町長** 避難場所の再検討等、地域防災計画の反映を含め作成し、全戸配布による住民周知は今年度末を予定している。

**問** 避難場所の再検討等、地域防災計画の反映を含め作成し、全戸配布による住民周知は今年度末を予定している。

**問** 初動対応、復旧等の重要な役割となる業務継続計画の状況は。  
**町長** 現在の計画は、水害等を想定していないが、おおむね地震編で準用できる。今後、風水害に対する被害想定を追加することも検討をする。

**問** 水害を想定した避難訓練等の予定は。  
**町長** 洪水を想定した訓練は近年実施していない。地域で、出前講座等を活用し、学びの機会を増やしていきたい。

**問** 水路への転落防止柵の設置状況は。  
**町長** 金田堰の二区間のみが未設置。地域の要望、歩行者の安全確保等どのような対応していくか今後の課題と認識している。

**問** 水害を想定した避難訓練等の予定は。  
**町長** 洪水を想定した訓練は近年実施していない。地域で、出前講座等を活用し、学びの機会を増やしていきたい。



水防団による水防訓練 (四つ杵工法)

空家対策特措法に基づく諸計画の活用は

答 空き家情報等を特定する

細田 勝治 議員



**町長** 新しい企画のひょうたん祭りや産業まつり、四季の里まつり等であり、四半の里まつり等であり、着実に来場客が増えている。

**問** 平成28年度は23万人を超えており、様々な取組みを行っている。  
**町長** 町から人口流出を防ぐための総合的な政策は。

**町長** 住基台帳や水道開栓情報等とともに空家所有者の特定に活用した。  
**問** 移住・定住策としてのお試し住宅は、短期間のトライアルでどのような成果を出すのか。  
**町長** 町の各種情報提供や三世代同居等移住定住促進補助金制度等により、移住から定住につなげる。

**問** 移住・定住策としてのお試し住宅は、短期間のトライアルでどのような成果を出すのか。  
**町長** 町の各種情報提供や三世代同居等移住定住促進補助金制度等により、移住から定住につなげる。  
**問** 観光事業を中心とした交流対策では、平成31年度には25万人の観光入込客数を見込むがその進捗状況は。



大井町への移住・定住のきっかけにしたい「お試し住宅」トライアル事業

業のピオトピアでの賑わい創出等積極的に便宜を図り事業促進を図っている。今年度は観光情報を強く発信するために、町のホームページの全面改修に合わせ観光に特化したページを設ける。

**問** 県知事と5町首長懇談で、町長は相和地域の線引き変更を強く要望されたが、知事の対応は。  
**町長** 都市計画法による調整区域と市街化区域の問題でもあり、国・県の動きは難しい。既存住宅の他に新規定住や移住等の緩和を何度も申入れている。今回町の県への要望として挙げた。

**町長** 相和地域活性化の交流体験事業や、民間事

和田堰、金田堰に隣接している狭小道路の安全対策は

答 検討していく路線として認識している

諸星 光浩 議員



**問** 和田堰、金田堰に隣接している町道21号と18号は通学路として利用されているが、歩道の確保ができていない部分がある。車両の抜け道としても利用され非常に危険であるが安全対策は。

**町長** 県道や国道の迂回ルートや抜け道としての利用頻度が上がり、危険



堰に隣接している狭小道路

だという認識は持っている。町道17号の交差点から県道78号までの区間は、退避所を1箇所設置しているが歩道は未整備である。歩道等の未整備区間について農業従事者の意見を把握し、財政状況や他の公共事業との優先度を勘案した中で計画を検討して行く。

**町道21号は全体的に幅員が狭いため、見通しがきかない区間を中心に一定の間隔で待避所の設置工事を進めた。**

**問** 農業従事者を集めて説明等行ったのか。

**都市整備課長** 今後は機会を得て取り組んで行きたい。

**問** 開渠部分から子供が流されると相模金子の先まで探すことができない。現在はガードレールがあり事故は起きていないが、車や人が重なるると非常に危険であるため、早急に計画を立てるべきと思うが。

**都市整備課長** 転落防護柵については、現状でそのような要望はないが検討して行く。

**町長** 転落して子供が流されてはならないし、開渠部分は残さなければならぬ。安全対策を行つた上で時間をかけて理解を得ていく必要がある。

「大井町公共施設等総合管理計画」における施設総量の適正化は

答 施設の更新時に、利用状況や管理コスト等を勘案し適正化に努めたい

田村 俊二 議員



**問** 30%総量削減をしても、平成53年には累積赤字が77億円となると試算されていることへの対応は。

**町長** 基金の活用や有利な補助金、起債等を検討し、累積赤字の抑制に努めたい。

**問** 庁内の推進体制の進捗状況は。

**町長** 総務安全課に公共施設管理部門を設置し、施設所管課、財政所管課を含む検討委員会を組織する等全庁体制で推進することとしている。さらに、町三役、課長等による「政策推進会議」にお

いて施設の整備方針等を整理・検討することにより次のステップにつなげたい。

**問** 行動計画の策定は。

**町長** 早急に更新が必要な公共施設についての個別計画を策定し、これを行動計画としたい。

**問** 施設情報の整備は。

**町長** 固定資産台帳を基に、施設別に資産情報、

【防犯対策について】

利用状況、管理及び管理コストを含めた「施設カテゴリー」を整備した。

**問** 町民への情報共有は。

**町長** 施設の更新を検討する際には、説明会の開催等町民の意見を取り入れて進めていかなければならないと考えている。

**問** 防犯対策として全ての公用車へのドライブレコーダーの設置は。

**町長** ドライブレコーダーの動く防犯カメラとしての効果は認識しているが、町としては、防犯カメラの設置を検討していきたい。



築30年となる生涯学習センター

地域防災計画の見直しの課題は

答 実行性の高い計画を考えている

牧野 一仁 議員



**問** 今年の総合防災訓練において課題は無かったのか。また、地域防災計画の変更点と進捗状況は。

**町長** 職員に対する訓練は反復確認による熟練と課題確認だ。地域防災計画は、県の見直しが進められ、本町においても災害想定が変化している。関係法令との整合性を図



地域防災訓練風景

り、より分かりやすく実行性の高い計画を考えている。現在各課で要修正事項の確認作業を行っており、2月にパブリックコメントを実施し、3月中に完成させる。

**問** 避難所運営に関わる自主防災組織との調整はどうなっているか。

**町長** 避難所に避難者自身が主体となった自主組織を作る必要がある。避難所運営委員会に自主防災組織も参加してもらおう。

**問** 地域自主防災の中心をなす自治会には協働のパートナーとして、どのような支援や指導をされているか。

**町長** 自主防災リーダー講習会など勉強の機会の充実や、防災出前講座の枠組みの中で活動支援をしている。また、防災資機材整備には2分の1、訓練等には全額補助をしている。

**問** 熊本地震でも消防団の重要性が再認識されたが、町は消防団についてどのように考えているか。

**町長** 地域防災活動の中心として自主防災組織と連携し、訓練などの指導をしている。また、常備消防との連携のもと適切な現場配置により業務が遂行できるよう努める。

防犯について町の取り組みは

答 県の補助制度を活用し  
防犯カメラ設置を検討

熊田 和人 議員



**問** 平成29年7月まで大井町の犯罪発生状況を見ると前年度同比41%増となっていることを踏まえ、今までは違った啓蒙・啓蒙・取組みの考えは。

**町長** 具体的な取組み計画は考えていない。

**問** 防犯カメラ設置について、県の補助制度を活用し自治会等の団体から申請できる体制を整える考えは。

**町長** 県では地域防犯力強化支援事業として、市町村及び地域自主防犯活動を行っている住民団体等が行う事業に対し補助金を交付する制度があり、防犯カメラ設置もこの補

助制度の活用を検討している。

**問** 現在、松田警察署が期間限定で町内に5台の防犯カメラを設置しているが、情報の共有と今後引き続き設置の要望の考えは。

**町長** 本年4月に松田警察署より防犯カメラ設置の申し出があり許可した。5月に設置し3か月間であったが期間延長をしている。その効果等も情報



松田警察署が設置した防犯カメラ

共有して行きたいと考えている。松田警察でも管内巡回的な考えをもってしているので、設置台数も含め要望して行きたい。

【教育長に問う】

**問** 教育長3期9年3か月の総括は

**教育長** 所信として、教育は人づくりという認識のもとで教育行政を推進してまいりたいと表明した。学校教育では、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指した。幼児教育では、各園長の指導のもと学校教育の視点も踏まえ推進した。いじめ問題も体系的・計画的に未然防止や早期発見に取り組んでいる。

**問** 各自自主防災組織において防災の知識を持つ防災リーダーの育成は、例年、6月の研修のほかに本年度は更に2回の演習や勉強会を計画している。

**町長** 子どもたちを対象に防災の意識を高める人材育成の取り組みとして、青少年消防クラブを結成



アレルギー対応や女性、乳幼児に配慮した備蓄は

**答** 備蓄倉庫建築に合わせて検討する

伊藤 奈穂子 議員

**町長** 民間資格であり県に資格取得による権利・義務はないが、資格取得に際し消防団の分団長以上の階級在職者や歴任者など一定の職にあつた者に対して研修等の免除がある。本町でもこの特例活用も踏まえ検討する。

**問** 女性防災士の募集は、女性防災士の募集は活躍する場はいろいろある。女性防災士になりたいという声が地域であれば検討する。

**防災安全室長** どのような訓練をして、どのような効果があるのか近隣の状態を含め研究し今後検討する。

**問** 防災士の資格を取得するための費用を助成する考えは。

**町長** ヘルプマークを使った災害時に着用出来るようなベストを作成しては、



手狭となった防災倉庫

**問** マンホールカードを作成しては、今後努力したい。

**町長** 今後努力したい。

**介護福祉課長** 考えていない。

**【下水道のイメージアップ事業について】**

**問** アレルギー対応の非常食や女性、乳幼児に配慮した備蓄は。

**町長** 中央土地区画整理地内の公園の整備に合わせて防災備蓄倉庫も建築する計画。今後多様性を持った備蓄品の備蓄を検討していく。

農村公園・ゆめの里・四季の里 一体公園としての整備は

**答** いつか誰かがしなければならぬ



石井 勲 議員

**問** 区画整理事業地内公園の整備状況は。

**町長** 7名の委員によるワークショップを開催し公園に必要な機能・施設配置等を利用者目線で伺い、国庫補助を目指し、3カ年の債務負担行為を設定し、公共施設負担金を支払った。今後は区画整理の進捗状況を見据え、防災機能を有した「みんなが気軽にふれあえる公園」の整備を実施段階へと進める。

**問** 用地取得・整備事業の財源は。

**町長** 整備には多額の費用がかかる。現在国の社会資本整備総合交付金を

活用する予定。残りを一般財源だけで賄うのは他の事業執行に影響するの無理のない事業債発行を視野に入れ整備していく。

**問** 旧湘光園跡地公園と進入道路、整備利活用は。

**町長** 用地取得に当たっては、公園のまま利用することと併せて「パークゴルフ場」の整備の可能性についても検討する



整備が進む公園予定地

**問** 農村公園・ゆめの里散策路・四季の里、別の名前を付けて、一体としての公園整備は。

**町長** 今後、来場者が年々増えて混乱をきたすことがないように、ゆめの里の中の農村公園として位置づけ、整備をしていく必要がある。

ために買収をした経緯がある。名称や整備施設も含めワークショップを開催する等、住民の意見を反映できるように、皆様に愛されるような整備環境を行っていかねばならないと認識している。

**都市整備課長** 道路は次年度から測量等を含め計画を定め進めていきたい。

# ● 町のこの人あの人 ●

## 元気にボランティア活動



新宿地区  
もり 勉子さん

新宿在住の森勉子さんを紹介します。

森さんは長崎県生まれ育ち、結婚後、昭和40年代に松田町に住み、大工を営んでいた森泰彦さんは第一生命の建設工事で仕事をしていた。その後、昭和60年代に今の大井町の一戸建てに住み、数年後共働きで働いていた仕事を退職した。退職後は、ボランティア活動や趣味のお寺廻り。近年では四国の八十八カ所、お遍路さん巡りをしていく。

### ▼大井町で様々な活動

大井まちづくりコミュニティ研究会では「保育園で鯉のぼり準備の手伝い、吾妻山の草刈り、植栽、障がい者とのふれあい、町内の研究調査」等の活動や、清水正美元議員の生前時の活躍話など語られた。

親子木工教室では、子ども達に物づくりを教える講師のサポートをしたり、福祉のきんもくせいや男性の料理教室（以前）では講師としての活動などに積極的に参加している。

### ▼息子夫婦と同居

大井町の良い所を伝えたり、沢山のひと繋がりがある、いろいろな話をするので日常生活を楽しみやすくすることが出来ると話されていた。

森さんは数年前に、ご主人の森泰彦さんを亡くし、独居生活の中で地域貢献をし、みなさんとともに助け助けられながら生活をしてきたが、ここ数年間で怪我や体調不良による入院をすることもあった。高齢である親を心配して、結婚し町外で生活をしてきた夫婦が子ども達も手のつからない成人であることも含め、今年の1月から準備をして2月より同居を開始した。以前は、自ら食事を作り食べていたが、今は、息子さんのお嫁さんが「おいしい食事を作ってくれる」「お嫁さんが、大井町のお水はおいしくていいね」とか話され住み慣れた土地で息子夫婦と過ごせて幸せであると照れ顔で話されていた。森さんの人柄も優しく、人を思いやる心ける秘訣ではないかと思つた。これからも元気に活躍することを願う。



親子木工教室の風景

町政を知る良い機会です

# 議会傍聴にお越しく下さい

12月5日(火)午前9時 第4回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936

## 編集後記

まだ暑い日もありますが、空の色や風の音にも秋を感じる季節となりました。

9月の定例会の中で、決算審査特別委員会の設置や陳情、条例一部改正の審査で、より深い審議を行いました。特に、企画経済常任委員会が取扱った審査で、水道料金値上げについては、町民の立場に立ち町側と激しい議論を行いました。

新体制となり一年が過ぎ議会の中でも変わった所もありますが、町民にはまだ伝わっていないことが多くあります。議会だよりや報告会等で、これからも町民へ情報を伝えていきたいと思つています。

曾根田 徹

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	広報常任委員長
田村 俊二	牧野 一仁	熊田 和人	伊藤奈穂子	曾根田 徹	諸星 光浩	細田 勝治